

## ステークホルダーからのご意見、ご要望等に対する対応状況

佐賀大学では、よりよい大学運営や教育内容・方法の改善等に役立てるために、本学のステークホルダー（学生、卒業（修了）生、新入生、ご家族、教職員、学外の各委員及び関係者、地元企業の皆様、地域の皆様など）からさまざまなご意見・ご要望等をいただきました。それらの対応状況を公開いたします。

今後とも、地域とともに発展しつづける大学であるために、いただいたご意見等に対し改善に向けて努力してまいります。

【平成28年度 意見対応 平成29年 2月23日現在】

ご意見をいただいた ステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応
卒業生	第4回佐賀大学ホームカミングデー参加者アンケート	開催時期について 11月中旬といえは寒くなります。せめて11月上旬くらいまでに開催できれば幸いです。	平成28年度については、大学や同窓会の行事や美術館の催し等を考慮し、11月開催となりました。また、ホームページで開催日時や、案内状送付対象者以外の同窓生についても参加の受付を行う旨を周知しました。次年度以降も大学等の年間行事等を考慮し、より多くの参加者が望める時期に開催を計画したいと考えております。
佐賀大学留学生	留学生宿舎に関する意向調査	教職員用宿舎を留学生用宿舎とした場合の入居についての希望、希望する家賃、シェアタイプ宿舎への入居	教職員西宿舎を改修せず、現状のまま留学生用宿舎（国際交流会館C棟）として転用することとしました。
医学部サークル顧問教員	サークル活動についてのアンケート調査	学生サークル活動の現況を把握	アンケートから、学生サークルの顧問教員が担当サークルの活動現状を把握できる良い機会となりました。また、活動状況を踏まえ、学生サークルリーダーセミナーを開催しサークル活動についての指導（サークル活動と学習との調整、試験前等の配慮など）を行いました。
医学部教員	医学・看護学教育ワークショップ	ワークショップのテーマである「医学部教育における実習教育のあり方」について、実習現場からの貴重な意見等を今後の医学教育に活用できると思われれます。	参加者アンケート結果及びグループワークにおける各グループ発表内容を医学部FD委員会において検証を行い、それを反映させた平成28年度ワークショップの主題及びグループワークテーマを設定することができました。ワークショップ検討事項を継続的な内容とすることは、教育の質の保証・改善にこれまで以上に反映させることが可能となります。
患者様	患者満足度調査アンケート	患者様の視点からみた病院運営のあり方について活用できると思われれます。	アンケート結果については医療の質向上委員会に報告するとともに、改善に向けた対応策を検討しています。さらに、外来運営委員会においても外来待ち時間の短縮、施設や設備の充実、接遇等についての改善策を検討しています。また、アンケート結果は病院運営協議会等で報告し全職員に周知しました。
保護者	理工学部後援会総会でのアンケート	後援会の会場についてもう少し広い会場を手配してほしい。	平成28年度の後援会総会でも、空いている席への誘導などを行いました。会場の席が全部埋まっている状態ではありませんでした。すべての席が埋まったうえで、それでも溢れるようであれば、他の会場を使用することも考えなくてはならないと思います。

ご意見をいただいた ステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見, ご要望等の内容	大学の対応
卒業生	第3回佐賀大学ホームカミングデー参加者アンケート	ホームカミングデーの企画の中に参加者の代表による在学時代の記憶に残っている佐大・寮等の昔話を入れたらどうでしょうか。ホームカミングデーは、今後も続けて欲しい。また佐賀大学校友会活動の広報についても検討して、広く周知して欲しい。学部毎に校舎内見学ができると思う。など	第3回ホームカミングデー参加者アンケートで寄せられました意見については、大学の全学会議で報告いたしました。寄せられた意見を参考に、第4回ホームカミングデー（11月14日開催）の際に、現在の学生のサークル活動の紹介や就職状況に関する資料を作成し配布いたしました。また、校友会の活動を広く周知するため、平成27年5月に会報（第1号）を発行し、同窓生の集まるイベントや佐賀大学同窓会のイベント等の配布や会員への配付およびホームページにて公開するなどにより周知いたしました。今後も会報は、発行（年1,2回）して行く予定です。
卒業生	第3回佐賀大学ホームカミングデー参加者アンケート	美術館に常設展として、特美の方たちの作品を置いていただけたらいいと思う。	現在、総合展と卒業制作展を開催しています。また、それぞれの専攻グループによる展示会も随時、開催しています。
広報誌読者（保護者, 一般市民, 受験生）	広報誌読者アンケート	今後とも極力学生・院生の紙面参加を進めてください。大学の行事等を！佐賀大にかかわった人の活躍, 全国・世界で！子供達の卒業後の就職先は気になります。	大学の主な行事がわかるよう学年暦を掲載しました。また、佐賀大学について知ってもらうため、「佐賀大学の物語」の刊行と公式HPでの閲覧についても掲載しております。
掲載新聞購読者（高校生, 高校進路指導担当教員, 一般購読者）	新聞記事広告読者アンケート	国立なのにマイナーな存在。もっと広報に力を入れるべき。就職について、もっと具体的な取り組みが知りたい。就職率が良いとの広告は引き付ける魅力があるのでは。地域と連携し、地域の問題と関わるチャンスのある学校だと知った。もっと詳しく知りたいと思った。	地（知）の拠点事業、肝炎プロジェクト、IT農業等、「地域との連携」に関する取り組みについて広報誌に掲載しました。平成28年3月発行の広報誌で、就職に関する本学の取り組み等について掲載を予定しています。
九州内の高校生と進路指導を担当する教諭	「芸術学部（仮称）」設置に関するニーズ調査－高校生と高校教員向けアンケート調査分析－	佐賀という地の利を生かして特色のある学部を新設してください。アジアや九州を基盤とした、研究や情報の発信が出来たらと思います。生徒が内容を理解できる案内があるとよいです。芸術マネジメントを学ぶことは興味深いですが、就職先をどのように探していくのが難しいのではないかと感じている。	高校生からの進学意向状況を把握し、説明不足な点等については、よりご理解いただけるよう教育内容などを記したパンフレットを作成し、高校生を中心に高校訪問や説明会を開催しました。また、説明会等で頂いた意見も踏まえ、新学部開設に向けた設置計画書を作成し、文部科学省へ申請し、平成28年4月に芸術地域デザイン学部を開設することとなりました。平成28年度の高校訪問については、入学者確保のために九州内の高校数十校で開催しています。

ご意見をいただいた ステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応
佐賀大学の学生を採用した実績のある企業人事担当者、関連企業・自治体等担当者	「芸術学部（仮称）」設置に関するニーズ調査－企業向けアンケート調査分析－	非日常の芸術分野を日常の産業分野に融合させて、世界に情報発信できる人材を育成してほしい。 せっかく佐賀の地にて学んでいただくのですから、佐賀の地で活躍していただきたい。また、地域でも活躍できる場、独特なまちづくりが出来ればと思います。 商業的デザインの養成も力を入れて頂きたい。	企業からの採用意向状況を把握し、佐賀の地域における必要性や佐賀で活躍できる人材の育成を踏まえ、その期待に応えられるような学部を目指し、設置計画書を作成し、文部科学省へ申請し、平成28年4月に芸術地域デザイン学部を開設することとなりました。
芸術学部（仮称）の設置にあたり、密接に関連する機関（企業）	「芸術学部（仮称）」設置に関するニーズ調査（訪問調査）～地域の意見～	地域をフィールドワークの場として実践してほしい。この分野では、佐賀大が日本のメッカとなることを期待している。 夢がある話で、今後が楽しみ。わが社には、美術工芸課程卒業の社員が在籍しているが、業務について別の角度から意見してくれることがある。きっと感性なのでしょう、目の付け所が違うと感じる。 具体的に最も求めている人材は、佐賀県の情報発信ができる人材である。 理論的なスキルを身に付けていれば、トレンドの動向分析も可能となり、流行の先取りも可能となる。 各自治体が作成する石碑や記念碑（モニュメント）等は、佐賀大学がデザインを受注してアート感覚あふれるものを県内に少しずつ増やしていく。そうすれば、恵比寿巡りに加え、5年後、10年後の新しい観光資源の創出につながっていくのではないかと。	自治体等を中心に頂いた意見を踏まえ、地域をフィールドとして学び、地域を創生できるような人材を輩出する学部として設置計画書を作成し、文部科学省へ申請し、平成28年4月に芸術地域デザイン学部を開設することとなりました。
来館者	美術館来館者アンケート	館内にベンチを置いて欲しい。	佐賀大学美術館は、限られたスペースを有効に使うため、企画ごとに館内を入れ替えますので、作り付けのベンチの設置は難しいのですが、その分、展示室やロビーなどに来館者用の椅子を適宜配置して対応します。
保護者	平成26年度理工学部後援会でのアンケート	勤務希望の締切が7月上旬のため、総会の案内が来てもなかなか参加が難しいので、できればホームページの年間スケジュールに入れていただければ参加しやすいのですが・・・	後援会の開催通知は、各学科から同封する資料と併せて、平成27年度も開催日の1ヶ月前までには発送しました。また、平成27年度の後援会総会の案内は、工学系研究科のHPにも掲載しました。
保護者	平成26年度理工学部後援会でのアンケート	IPテスト等による学生の英語力向上を期待しております。	平成27年度も、学生の英語力向上を目指し、後援会の就職斡旋費よりTOEICのIPテストの受験料助成を行いました。就職にも有利となるため、学部3年生及び博士前期課程1年生を対象としています。
高校生、一般市民	佐賀大学公開シンポジウムでのアンケート	大学で素晴らしい研究がなされていることが理解できた。ただ、出席者が少ないのは残念！	農業関係の高等学校及び県試験場に対し、重点的に広報活動を行うとともに、ホームページのより一層の充実に向けてまいります。 (平成27年度は公開シンポジウムを実施しませんでした。)

ご意見をいただいた ステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見, ご要望等の内容	大学の対応
学生	平成25年度附属図書館利用者満足度アンケート	館内の私語が気になる。	平成27年度に, 1階のほぼ全面をラーニング・commonsへ改修しました。1階は会話ができるスペース, 2階と3階は静かに個人学習ができるスペースとして分離することにより, 各自の勉強スタイルによって学習場所を選択できるようになりました。
学生	平成25年度附属図書館利用者満足度アンケート	夏場の空調をもう少し効かせて欲しい。	エコ運転をしつつも, 利用者の方が快適に過ごせるよう, 空調運転を工夫しました。また, 各階に扇風機を設置しました。
学生	平成25年度附属図書館利用者満足度アンケート(医学分館)	長時間, 座席に荷物を放置したまま離席しているマナーの悪い利用者に対して, 対策を講じて欲しい。	国試時期などの利用者が多い時期には, 職員で館内を午前・午後巡回して, 荷物放置されている席には警告カードを置いて注意喚起し, それでも一定時間以上放置されている荷物は職員で回収して一時お預かりするようにしております。
学生	学部長と学生との懇談会	大学における決定事項を早く周知して欲しい。	平成26年度から医学部教育委員会を正式な構成員として学生委員(若干人)を入れた組織体制に変更しました。このことにより, 学生代表と大学側の情報交換がスムーズに行えるようになりました。
学生	学部長と学生との懇談会	附属図書館医学文館を土日祝日も無人開館して欲しい。 附属図書館医学分館のパソコン及びプリンタを増やして欲しい。	情報基盤サブセンター演習室が改修中は利用可能なパソコン数が減少していたので, パソコン及びプリンタを増やして対応しました。今後, 学生教育用端末入替の際, 看護学科棟LL室に新たにパソコン32台及びプリンター2台を設置し, 情報基盤サブセンター演習室の台数を増やす予定です。また, 医学部分館の土日祝日無人開館については, 防犯面から開館していません。
保護者	平成25年度理工学部講演会でのアンケート	後援会の活動状況, 学内外の情報の連絡等の意味を含め定期的に広報誌のようなものを発行していただくと父兄等のコミュニケーションも深まるのではないかと。	定期的に広報誌のようなものは発行していませんが, ホームページをリニューアルして, 平成26年度の後援会総会の様子等を掲載し, 情報を発信しました。
高校生, 一般市民	佐賀大学公開シンポジウム 地域食品資源を活用する新技術—生物機能の可能性に期待して—開催時アンケート	インターネットなどでのアピールを多くして欲しい。	ホームページへの掲載を充実させたところ, 高校生の参加者が増加しました。平成27年度に農学部設置から60周年を迎えることから, より一層の充実を努めます。

ご意見をいただいた ステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見, ご要望等の内容	大学の対応
一般市民	公開講座アンケート	講座の内容や期日等はどのように調べたらよいですか。掲載されていない新聞等もあり、もっと広く広報してもらいたい。	大学のHPに掲載し、図書館等にもチラシを送付しています。報道機関にも掲載をお願いしていますが、掲載は報道機関任せであるので、必ずしも掲載されるわけではありません。講座担当者にも、自ら広報活動を行ってもらうようお願いしています。電話やメールで問い合わせのあった方については、HPの掲載場所の案内や、公開講座のパンフレット・受講案内リーフレットを希望者には個別に郵送するなどにより情報提供しています。
高校教員	高校訪問	実質的な高大連携活動の展開	高大連携については、佐賀・福岡県内の高校に大学の取り組みや活動を紹介し、教育研究活動についての理解を深めてもらうとともに、高校からの意見・要望などを拝聴し大学運営に反映させるため、平成24年度から学長による高校訪問（平成24年度佐賀県24校、25年度福岡県10校、26年度佐賀県14校）を実施しています。そして、それを契機として、佐賀大学と佐賀県教育委員会において、高大連携事業の新たな取り組みについて協議を進め、平成26年度から、高大連携事業として、将来、教師を目指す高校生を対象とした教員育成プログラム「教師へのとびら」を開始しました。このプログラムは、出前講義やオープンキャンパスのように一般の高校生を対象にした単発的なイベントとは異なり、将来、教師を目指す高校生を対象に、佐賀大学キャンパスにおいて、年3回程度の講義や体験型学習等を高校在学中に継続的に受講するもので、高校3年間と大学4年間の計7年間を通して「未来の教師」を育成することを目標としています。
学生	利用サービス業務	附属図書館の開館時間の延長はできませんか。無人貸出機があるのだから24時間開館でも問題ないように思います。	24時間開館は現在のセキュリティの点で実現することはできませんが、平成24年度から平日の開館時間を延長し、毎月一回の定例休館日を休業期のみ実施することへ改め、開館時間の改善を行いました。
学生	利用サービス業務	身障者用トイレの手すりが使用できない。	トイレに新しく手すり、ウォシュレットを設置、従来の手洗いの蛇口を交換し、利用しやすいトイレに変更しております。
図書館会議室利用者	利用サービス業務	図書館会議室の机と椅子が重く利用しづらい。	図書館本館の開館より使用している会議室の机と椅子を利用しやすい軽量の机・椅子に交換しました。
図書館利用者	医学分館利用サービス業務	医学分館内の階段のすべり止め修繕	階段の滑り止めについて、貼り直したものも含めたすべての箇所について、職員が適宜確認し、劣化したり不具合がある箇所がないか点検しています。今現在は、踏く危険のある箇所はありません。この後も、各職員による点検確認は継続して行い、修理や貼り直しが必要な箇所が見つかれば速やかに対処いたします。

ご意見をいただいた ステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見, ご要望等の内容	大学の対応
附属小学校教員	共同研究者の集い	平成24年度の小中合同研究発表会に向け, 小中連携における「子どもの発達と学び」について研修を行い, 研究テーマや研究組織, 研究計画についての要望があった個別に行っている大学教員の共同研究者探しを組織的に行って欲しい。	主に教科教育講座の教員と附属学校園教員との間で, 研究発表会に向けて協働して教育・研究連携を進め, 今後は相互の授業参観を行うことによって教育効果を一層高めていきます。また, 附属学校運営委員会を活用し, 相互の意見交換を積極的に行う予定です。
同窓会役員	有朋会と教員採用対策プロジェクトとの意見交換会	同窓会役員による就職試験対策講座の開催要請と受講学生への周知の要請(就職率向上)	他学部受験生も受入れてより学生への周知を徹底し, 同窓会役員による就職試験対策講座(面接・論文指導等)を開催しました。教員採用試験においては佐賀県の採用数が増加しました。
保護者	文化教育学部後援会評議員会・総会・個人面談	保護者から, 卒業生まで含めた就職情報の提供と就職支援の要請があった。	後援会総会において就職情報の提供を行いました。
佐賀県教育委員会	佐賀大学・佐賀県教育委員会連携協力事業	佐賀県の教育課題(魅力ある学校づくり, ICT利活用等)や教員研修の実施・協力, 教員養成における佐賀大学学生の教育実践力の向上要請	継続11事業の23年度実績及び「先進的ICT利活用教育推進事業」, 「古文書・古典籍が読める人材の育成」の新規2事業を含む平成24年度の実施計画が了承されました。また, 平成24年度の連携協力事業の各プロジェクトからの活動報告について了承されました。
学生	女子学生との懇談会	①問題が生じた時に, 気軽に相談に行ける環境を作ってほしい。②施設(トイレ, 更衣室等)を充実させてほしい。③喫煙マナーが悪い。④その他。	学部運営会議で出された意見等を報告後, 全学的な問題の共有をはかるべく, 男女共同参画推進室会議においても報告し, その中で, 特にトランスジェンダーの学生および教職員に対する問題提起に対しては, 今後, 全学的に取り組んでいくこととなりました。
教職員	女性教職員との懇談会	労働環境, 労働条件についての問題提起。教職員どうしが気軽に情報交換できる場が欲しい。女性の管理職を増やすため問題点を検討する必要性。	学部運営会議で出された意見等を報告後, 全学的な問題の共有をはかるべく, 男女共同参画推進室会議においても報告し, その中で, 特にトランスジェンダーの学生および教職員に対する問題提起に対しては, 今後, 全学的に取り組んでいくこととなりました。
留学生	留学生との意見交換	留学生の学部や大学に対する具体的な要望を聞いた。とくに授業料免除, 教養で開講されている日本語の授業の単位化などの要請。	授業料免除の申請方法, 日本語授業の履修の仕方などは個々の教員チューターが対応していますが, それでも不十分な場合は, 国際貢献委員会のメンバーが直接指導・助言することになりました。
学生	学部長と学生との懇談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義室が狭い, 椅子が固い。</li> <li>・図書館(自習用の席, パソコンを増設してほしい。深夜は, 窓が開けられないので夏場・冬場は空調をつけてほしい。蔵書の新版を入れて欲しい無線LAN環境の改善。)</li> <li>・講義棟周辺にATMを設置してほしい。</li> </ul>	<p>【講義室関連】校舎講義棟改修工事に伴い, 固定机及び椅子の入替を予定しています。学生会の代表者にいくつかの入替候補機種に実際に座ってもらい, 機種選定の参考としました。</p> <p>【図書館関連】自習用の席は, 2年前に8席増設しましたが, これ以上の増設はスペースがなく, 困難な状況です。無人開館時間帯の空調については, エコアクション21に基づき, 空調期間及び時間帯が決められ省エネが実施されており, 学生への協力を依頼しました。蔵書については, 随時, 新版や新刊を入れているが, 目立ちにくいようなので, 今後は配架に工夫することとしました。</p> <p>【ATM】既に病院地区に地方銀行(2台)と郵便局(1台)のATMが設置されているので, 同一敷地内に増設はできません。</p>

ご意見をいただいた ステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見, ご要望等の内容	大学の対応
附属学校保護者	附属学校園育友会と学部との懇談会	附属学校の特色を生かすためにもっと活発に大学との交流を行って欲しい。4附属学校園の教育体制や学部との連携について要望。	主に教科教育講座の教員と附属学校園教員との間で、教育・研究連携をさらに進めるとともに、相互の授業参観を行うことによって教育効果を一層高め、また、附属学校園育友会からの要望を月1回開催される附属学校運営委員会を通して収集し、相互の意見交換を積極的に行います。
保護者	平成24年度理工学部後援会でのアンケート	出席状況・成績単位等の状況を知らせて欲しい。	成績については、年一度、学科毎に、ご父兄に単位取得状況を通知しています。また、個別での対応については、学科の教務委員が行っています。
保護者	平成24年度理工学部後援会でのアンケート	後援会の開催時期は、この時期でも構わないが、仕事に休みを取るため、早めに連絡を行ってほしい。	後援会の開催通知は、各学科から同封する資料があり、それと併せて送付しているため、準備に少し時間がかかりますが、今年度も開催日の1ヶ月前までには発送しました。
保護者	平成24年度理工学部後援会でのアンケート	他の国立大学にも負けないような、特色を出して、学生が胸を張って、本学の学生ということを誇れるような大学になってほしい。	教職員一同、教育及び研究等に力を入れていきます。また、地域との連携を今まで以上に深め、親しまれる大学を目指します。
高校生・一般市民	～来てみんしゃい佐賀大学へ～企画 佐賀大学公開シンポジウム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• もっとわかりやすく解説してほしい。</li> <li>• 理論よりも具体的内容を多くしてほしい。</li> </ul>	解り易い内容・話し方を心掛けたところ、理解度は3.89と昨年より0.29ポイント高くなりました。

ご意見をいただいた ステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見, ご要望等の内容	大学の対応
教職員	職員宿舎整備のための 意見照会	役職員宿舎整備計画に関する要望等	施設マネジメント委員会及び当委員会の下部組織である職員宿舎整備計画WGにおいて、今後の職員宿舎整備方針等を検討するための資料とします。
高校生	オープンキャンパス アンケート	案内係が少なくてどこに何があるのか分からず、体験授業の場所が分かった時には人が多くて入れず、受講することができませんでした。	全学的にプログラム構成を見直し、参加者が複数の催し物に参加できるように改善を図ると同時に、各イベントがどの時間帯にどの場所で実施されているのかを示した案内冊子を作成し、全員へ配布することで参加者の利便性を高めました。さらに、受付時に整理券を配布し、参加人数を正確に把握することで教室のキャパシティの問題で説明会等に参加できないという事態を避けるための改善を行いました。
学生	学生モニター会議	駐輪スペース増設やメインストリート樹木剪定等の環境整備に関する要望	樹木剪定は状況に応じ年に3回実施します。駐輪スペース増設については施設課と協議し、現状ではスペースが足りないため、建物改修等の際に増設について検討することにしました。
学生・教職員	利用サービスカウンター 業務	分館（本館）で借りた資料を本館（分館）で返却したい。	図書館システムの修正を行い、本館（分館）で借りた資料を分館（本館）で返却できるようにしました。
一般市民	公開シンポジウム	田植え期である梅雨は避けてほしい。	平成24年度の公開シンポジウムは、田植え期の梅雨を避け、9月に開催しました。
一般市民	公開シンポジウム	場所が分かりづらい。	平成24年度は、唐津市民会館での開催ということもあり、案内板等の設置が出来ませんでした。次回、本学で開催される際は、案内板の配置等に工夫したいと思えます。
一般市民	公開シンポジウム	講演の間に休憩を入れた方が良かった、聴講者の集中力が途切れると思います。	平成24年度は、各講演の間に短めの休憩を入れ、聴講者の集中力が途切れることがないように配慮しました。
患者様	患者満足度 調査アンケート	診療に係る待ち時間の短縮についての要望 接遇や施設・設備に関する意見・要望	外来運営委員会において待ち時間の短縮に向けた改善策を検討しています。また、アンケート結果は病院企画室会議に報告するとともに、各職種ごとに結果を配信しました。
学生	学部長と学生との懇談	選修決定を早くして欲しい。 教育環境の整備（施設、図書等）	選修決定については賛否両論あり、引き続き検討していきます。教育環境整備については法人、図書館に要求する予定です。



ご意見をいただいた ステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見, ご要望等の内容	大学の対応
学生	学部長と学生との懇談	面接対応教員の数を増やして欲しい。 他県受験の対応をして欲しい。	他県受験者のための図書購入及び面接対応教員を増加しました。 3年生の受験対策講座を早めて開始しました。
附属小学校教員	共同研究者の集い	小学校から共同研究に関する目的, 内容・方法等に関する指導及び助言の依頼 学部から地域小学校のモデルとしての研究要請と共同研究の依頼及び学生の教育実習, 論文作成へのアンケート等の協力依頼	教科毎に共同研究についての勉強会の日程を調整し, 支援や示唆を与えたりして相談に乗りました。
学生	学部・研究科将来構想WG	佐賀大学受験の動機, 併願大学, 就職希望先, カリキュラム・教育内容への充足度及び要望等	アンケート調査によって明らかとなった各課程に所属する学生のカリキュラムに対する要望, 将来の進路等に対応する新しい改組案を作成しました。
同窓会役員	有朋会と教員採用対策プロジェクトとの意見交換会	同窓会役員による就職試験対策講座の開催要請と受講学生への周知の要請（就職率向上）	教員採用対策プロジェクトにおいて, 同窓会役員による有意義な面接指導, 論文指導を受講する学生も増え, 教員採用試験への実質的な対策となり得ました。
同窓会役員	有朋会と講座代表者との意見交換会	就職率向上のために積極的に協力したい	教員採用一次合格者への面接・模擬授業指導講座を開催し, 学生の受講要請をすることになり, 教員採用対策プロジェクトで面接・模擬授業指導講座の開催を早めることになりました。
同窓会関係者	有朋会と学部就職委員との意見交換会	就職率向上対策協力依頼	就職内定者名簿を作成し, 講座毎に説明するとともに, 非常勤講師任用等の協力を依頼しました。講座毎の内定者人数の説明, 進路先説明により教員以外の進路情報がより明確に理解でき, 現状把握に役立つ事が出来ました。
高校教員	高校訪問	実質的な高大連携活動の展開	高大連携については, 佐賀・福岡県内の高校に大学の取り組みや活動を紹介し, 教育研究活動についての理解を深めてもらうとともに, 高校からの意見・要望などを拝聴し大学運営に反映させるため, 平成24年度から学長による高校訪問（平成24年度佐賀県24校, 25年度福岡県10校, 26年度佐賀県14校）を実施しています。そして, それを契機として, 佐賀大学と佐賀県教育委員会において, 高大連携事業の新たな取り組みについて協議を進め, 平成26年度から, 高大連携事業として, 将来, 教師を目指す高校生を対象とした教員育成プログラム「教師へのとびら」を開始しました。このプログラムは, 出前講義やオープンキャンパスのように一般の高校生を対象にした単発的なイベントとは異なり, 将来, 教師を目指す高校生を対象に, 佐賀大学キャンパスにおいて, 年3回程度の講義や体験型学習等を高校在学中に継続的に受講するもので, 高校3年間と大学4年間の計7年間を通して「未来の教師」を育成することを目標としています。

ご意見をいただいた ステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見, ご要望等の内容	大学の対応
保護者様	文化教育学部後援会評議員 会・総会・個人面談	学部及び課程・講座の説明と学生の単位修得 状況説明に対する保護者からの学生への適切 な指導の依頼	教授会で指導体制（チューター制）の強化と指導教員への適切な 指導を要請しました。講座（選修），専修ごとに，単位が不足し ている学生への履修指導や生活面のアドバイス等を行いました。
図書館利用者	医学分館利用サービス業務	エレベーターを車椅子対応に変更して欲しい。	エレベーターの操作盤を下げ，かご内には手すりと鏡を設置しま した。 また，扉にセンサーを付けましたので，乗降時に「開」ボタンを 押し続ける必要がなくなりました。
図書館利用者	利用サービス業務	エレベーターの扉がすぐ締まるので危険である。	エレベーターの扉のセンサーを増やし，人や物で反応して，扉が すぐ締まらないように改修を行いました。今後も利用者の安全に 努めていきます。

【平成23年度 意見対応 平成29年 2月23日現在】

ご意見をいただいた ステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見, ご要望等の内容	大学の対応
保護者様	校友会事業 「キャンパスツアー」	詳細な就職情報をインターネットに掲載してほしい。	就職支援課において, わかりやすい就職数(=統計値)の掲載に努めてまいります。
学生	図書館アンケート	開館時間を延長してほしい	平成24年度から平日の開館時間を延長し, 毎月一回の定例休館日を休業期のみ実施することへ改め, 開館時間の改善を行いました。
学生	図書館アンケート	本や雑誌の品揃えをよくしてほしい	23年度に, 本館では, 閲覧室の教育・心理および農学系の図書に関する新刊書を1,117冊を購入・配架し, 書架の活性化を図りました。また, 学生選書委員を募り, 358冊の図書を選書してもらい, 1階の学生選書コーナーに配架・貸出ができるようにしました。医学分館では, 教員に学生用図書を常時推薦できることを周知するとともに, 多様な推薦方法を提供することで推薦時の事務的負担を軽減しました。その結果, 教員からの推薦冊数が増えました。推薦方法を工夫することにより推薦冊数を増やし, 品揃えを改善するよう努めています。
学生	図書館アンケート	パソコン台数を増やしてほしい	平成27年3月に本館3台, 医学分館10台増設しました。
学生	図書館アンケート	飲食しながら休憩できるスペースがほしい (本館)	館内スペースの活用について検討していきます。
全国の学生及び一般市民	佐賀大学機関リポジトリ問い合わせ	機関リポジトリにフルテキストの掲載がない論文を読みたい	大学紀要論文, 雑誌掲載論文, 博士論文等の本文の登録をすすめており, 今後も継続して登録を進めていく予定です。
一般市民	公開講座アンケート	教室については満足だが, 帰宅時に教室棟(教養教育2号館)の階段の足元が暗く不便だった。	所管する部署に報告しています。今後, 状況をみて改善をはかっていきます。 ご不便をおかけしました。ご指摘の階段の照明灯につき, 照明のスイッチは, 1階にあり, 通常は「自動」になっており, 外が暗くなった場合は, 照明灯が点灯するようになっておりますが, その日に限り, 1階のスイッチは「切状態」に設定していたと推察します。今後, 同スイッチにつき, 「切状態」にならないようにしています。
一般市民	公開講座アンケート	大学の西門から入る時は, どこで許可証がいるのかが分かりにくかったので, 周知してほしい。	本学の公開講座HPに, 入構に関する案内文を記載しました。また, 守衛室にも, 各公開講座毎の受講案内を配布し, 開催会場の案内や入構手続き等にも配慮するようにしています。

ご意見をいただいた ステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見, ご要望等の内容	大学の対応
保護者様	校友会事業 「キャンパスツアー」	成績単位表が小さすぎて見にくい。	教務課において、システム更新時などに検討していきます。
保護者様	校友会事業 「キャンパスツアー」	発達障害の研究成果を発表していただきたい。	「佐賀大学医学・教育学クロスカリキュラム」のホームページで、発達障害に関する学生教育、研究及び講演会について紹介しています。
高校生	オープンキャンパス アンケート	自由に施設等や研究室等を見学出来るようにして欲しい。サークル活動の紹介といった学生生活に関する情報を提供して欲しい。	各学科、課程が実施する模擬授業や実験を増やすなどプログラムを大幅に見直すとともに案内パンフレットを作成し事前に公表しています。また、午後は、プログラムを2回実施することにより、異なる学部や学科のプログラムにも参加できるように工夫しました。高校生が大学進学参考となるようなオープンキャンパスに努めた結果、平成26年度の参加者は過去最高の5,367人となりました。
高校生	オープンキャンパス アンケート	参加型の簡単な実験や学生生活に関する情報も提供して欲しい。	各学科、課程が実施する模擬授業や実験を増やすなどプログラムを大幅に見直すとともに案内パンフレットを作成し事前に公表しています。また、午後は、プログラムを2回実施することにより、異なる学部や学科のプログラムにも参加できるように工夫しました。高校生が大学進学参考となるようなオープンキャンパスに努めた結果、平成26年度の参加者は過去最高の5,367人となりました。
高校教諭	高校訪問聞き取り調査	大学のホームページを閲覧するが、分かりやすい研究室と何も情報が無い研究室とに差が有りすぎる。ある程度情報発信のレベルを統一できないか。	平成26年3月に佐賀大学ホームページを全面的にリニューアルし、原則3クリックで情報にたどり着けるように見直しを行うとともに分かり易いレイアウトに変更しました。
高校教諭	高校訪問聞き取り調査	就職に関する情報を分かりやすく示して欲しい。例えば、私大とくらべた強みは何なのかといったポイントが示されるとわかりやすい。	平成24年度発行の大学案内から各学科の情報量を4ページに大幅に拡大し、就職先についても学科別に整理し掲載しております。また、産業別、地域別にグラフ化した資料も掲載しました。
商工会議所	自治体及び商工会等訪問	大学側との相互理解が必ずしも十分でない部分もあるようなので、産官や地域のニーズと大学側のシーズがうまく活用されていない。	平成23年4月をもって、県内すべての自治体及び商工会・商工会議所の訪問を行い、本学の情報提供及び地域の現状や要望等の情報を収集し、相互理解を深めました。自治体及び民間を併せて、年間30件程の問い合わせ等に対し、対応を行いました。
学生	図書館アンケート	貸出期間を長くしてほしい	22年度に、学部学生等の貸出可能冊数を、本館では5冊から10冊へ、医学分館では3冊から5冊へ増冊しました。また、シラバス図書の出借日数を本館では3日間から1週間へ。分館では1日間から3日間へそれぞれ延長しました。
学生	図書館アンケート	ライブキャンパスを自宅のPCから使用できるようにしてほしい	教務課がライブキャンパスシステムを改修し、平成23年9月から、自宅のパソコンからでも履修登録ができるようになりました。

ご意見をいただいた ステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見, ご要望等の内容	大学の対応
学生	図書館アンケート	座席数を増やしてほしい	本館では, 6人用の大机にしきりを設け, 他人同士でも快適に勉強ができるように整備しました。また, 必要な机, 椅子を準備し, 座席数を約20席増やしました。 医学分館は平成26年3月に, 1階新聞・雑誌室を多目的学習室と改め, ホワイトボードとして使用可能な仕切り及び可動式の机・椅子を増設し, 現在14席を準備しています。
保護者様	文化教育学部後援会評議員会・総会・個人面談	学部及び課程・講座の説明と学生の単位修得状況説明に対する保護者からの学生への適切な指導の依頼	学部及び課程・講座の説明と学生の単位修得状況説明に対する保護者からの学生への適切な指導の依頼をするとともに, 教授会で指導体制(チューター制)の強化と指導教員への適切な指導要請を行いました。
患者様	調査票によるアンケート	診療開始までの待ち時間の短縮についての要望	附属病院患者サービス課では, 予約時間の配分設定などについて検討を行っております。